

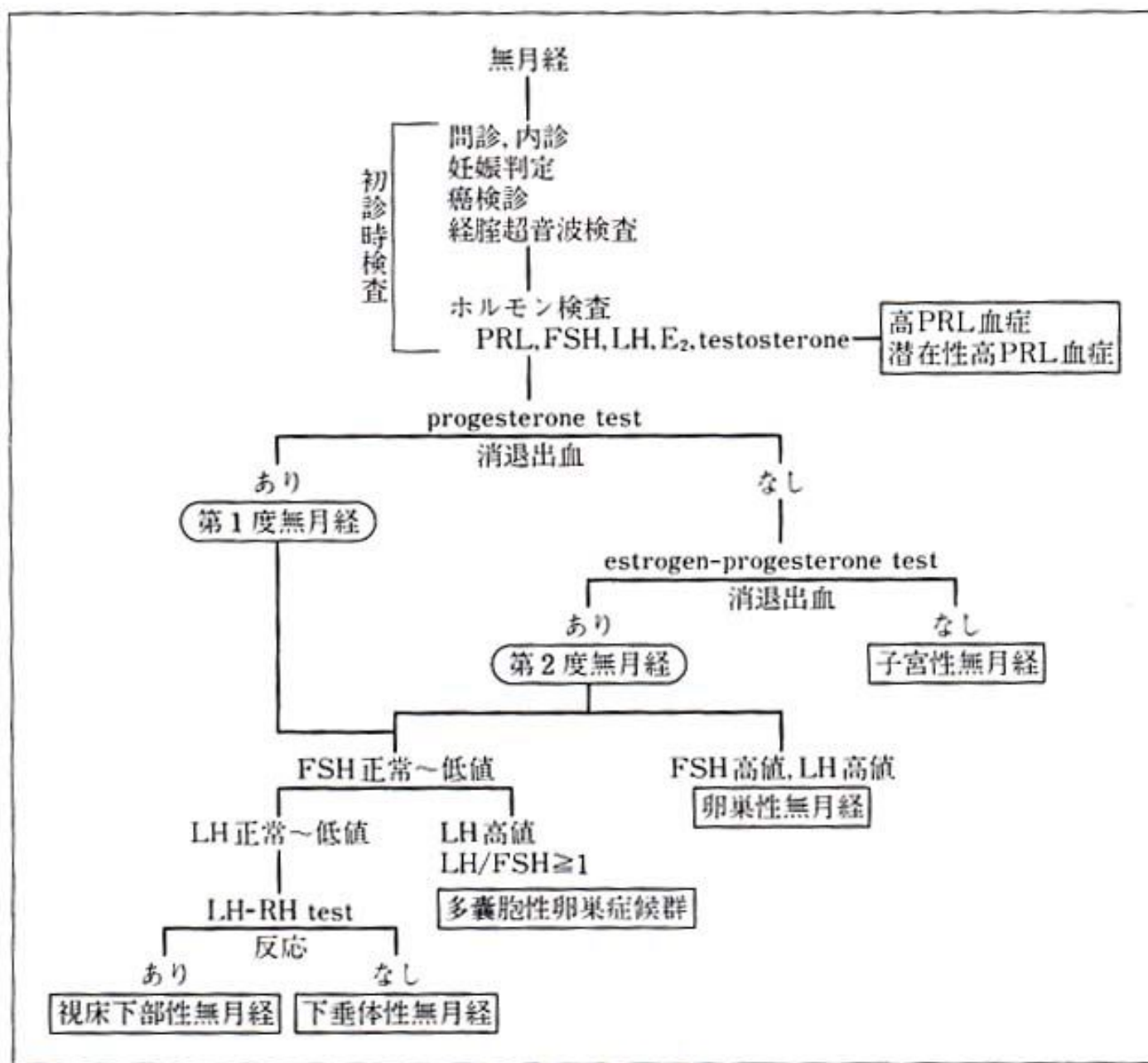


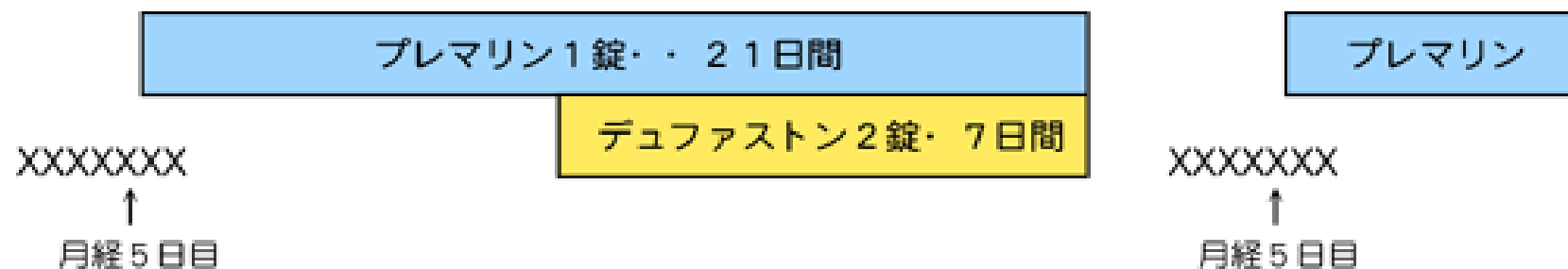
図4 無月経診断のフローチャート
(熊谷 仁ら, 2000³⁾ より)

カウフマン(Kaufmann)療法

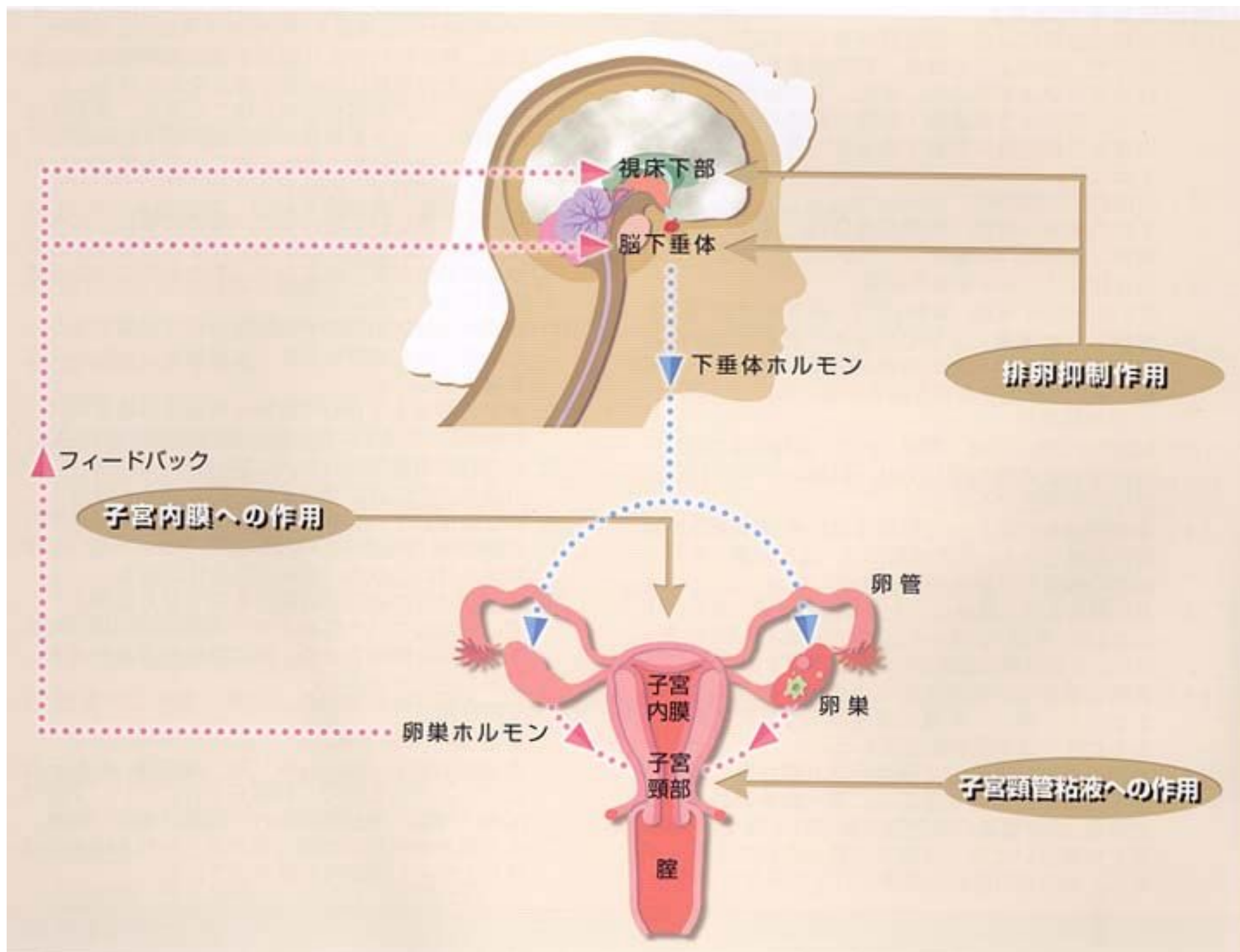
卵巣機能不全が考えられる場合に、外からエストロゲンとプロゲステロンを補って、生理的なホルモン分泌状態に近い環境を人為的に作り出す治療法です。この方法によって視床下部・下垂体・卵巣に外から“揺さぶり”をかけて、自力で本来の内分泌環境を取り戻すことを目的としています。

月経5日目からエストロゲン製剤を21～25日間服用し、その後半の7～10日間はプロゲステロン製剤も一緒に服用します。服用終了後2～7日に月経(消退性出血)がきますから、同様の服薬を2～3周期繰り返します。

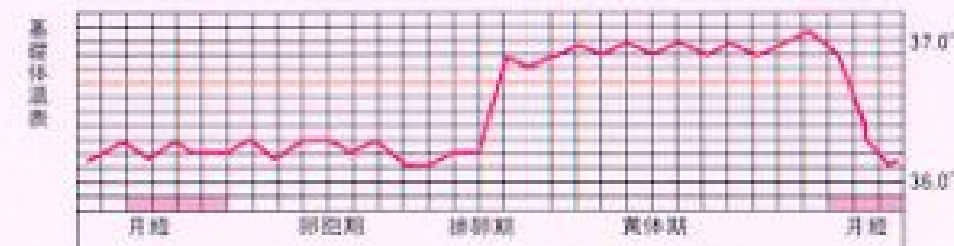
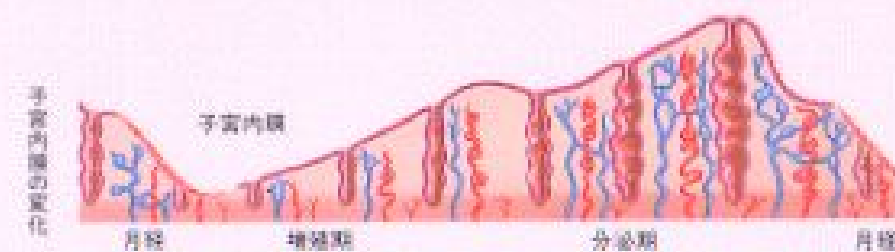
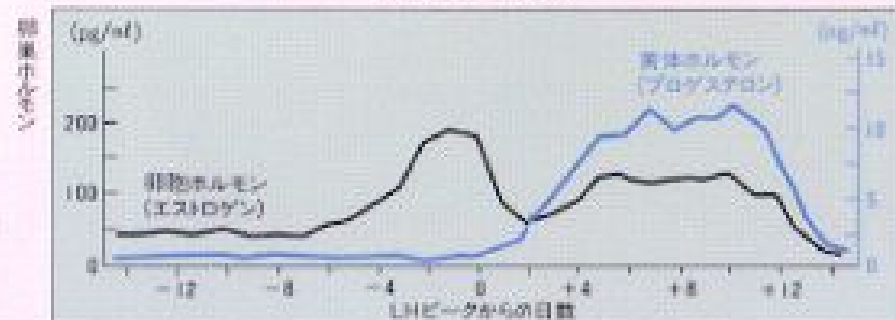
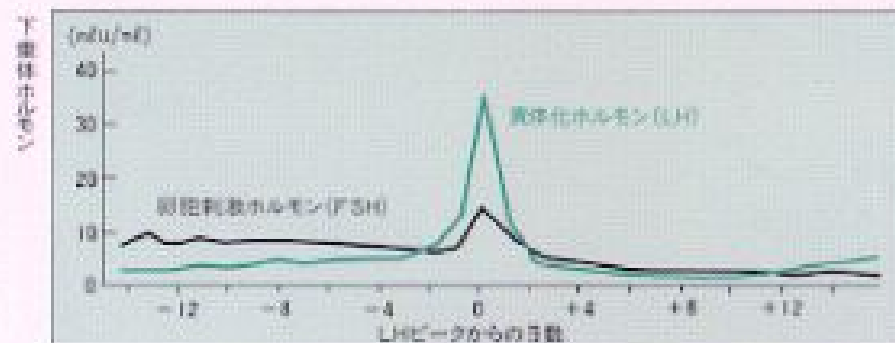
投与例:



【注】プレマリン-----エストロゲン製剤
デュファストン---プロゲステロン製剤

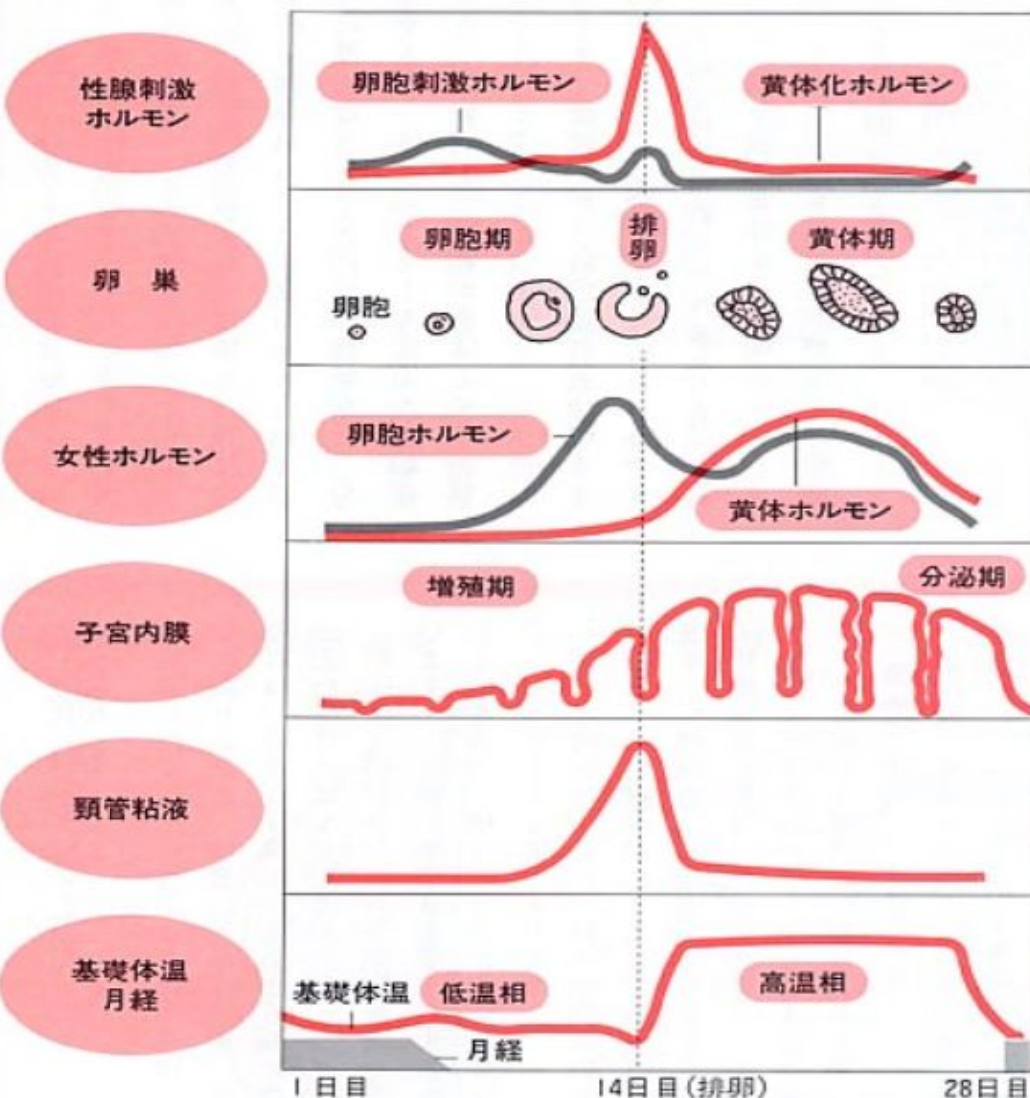


正常月経の周期的変化



性 周 期

● 月経周期に伴う体の変化



(青野敏博：女性の一生とホルモン環境，産婦人科治療，Vol.64，1992より)

卵胞刺激ホルモン:FSH

黄体化ホルモン:LH

LHの一過性の多量分泌
によって排卵する
(LHサージ)

卵胞ホルモン:
エストロゲン

黄体ホルモン:
プロゲステロン